

「光年の森」©パビエ

世界が認めた漫画家の魅力に迫る原画展

# 描くひと 谷口ジローの世界

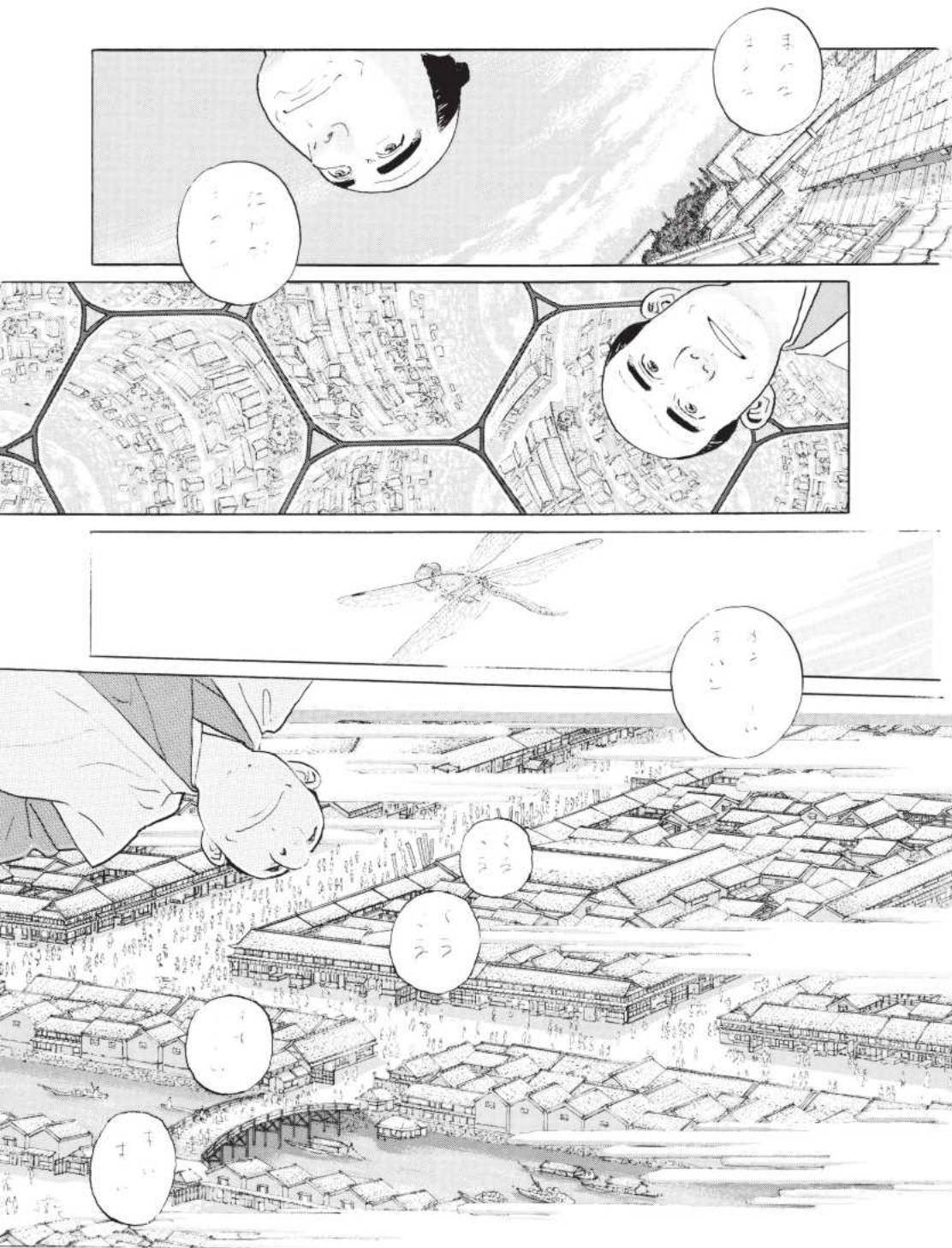
# L'HOMME QUI DESSINE L'UNIVERS DE JIRÔ TANIGUCHI

平成30年4月14日(土)～5月13日(日) 鳥取県立博物館 第3展示室

●開館時間：9:00～17:00 (入館は閉館30分前まで) 観覧無料 ●休館日：4月23日(月)、5月7日(月)

主催：鳥取県 共催：一般財団法人パビエ 協力：講談社、集英社、小学館、扶桑社、双葉社、フランス著作権事務所





「ふらり」©パピエ



「父の唇」©パピエ



「孤独のグルメ」©パピエ



「センセイの靴」©パピエ

世界が認めた漫画家の魅力に迫る原画展

# 描くひと 谷口ジローの世界

L'HOMME QUI DESSINE L'UNIVERS DE JIRÔ TANIGUCHI

日々新たな表現が生み出される日本の漫画の中で、谷口ジローの作品は、きわめてオースドックスでありながら特異な存在感を放ち続けて来ました。漫画を「9番目の芸術」として愛するフランスをはじめとした欧米諸国やアジア諸国でも、谷口ジローは「漫画の巨匠」として尊敬され、その作品は長きにわたり絶大な人気を誇っています。

印刷や複製では再現が困難とも思われる谷口ジローの精細なタッチで描かれた「原稿」は同時に「作品」です。そして、それらの「作品」が何コマも、何ページも連なって、大きな時間と空間の中に独自の世界をつくり上げています。

本展は、2017年2月に世を去った谷口ジローの主要作品の原画、単行本に未収録の初期作品、谷口ジローの制作の現場に立ち会った関係者のインタビュー映像などを通して、谷口ジローの世界のオリジナルな魅力を探ります。

写真 / 小田基行 (小学館)



## 谷口ジロー

1947年～2017年。18歳まで鳥取で過ごす。ハードボイルドやSFなどの迫力ある画像から、市民の日常を丁寧に紡ぐ描写、そして江戸時代から明治の都市生活まで、幅広い表現で知られる。日本、ヨーロッパ、アジアで多くの漫画賞を受賞。2011年にはフランス芸術文化勲章「シュヴァリエ」を受章した。谷口ジローの作品は、現在世界15ヵ国で翻訳・出版されている。

平成30年4月14日(土)  
～5月13日(日)

## 鳥取県立博物館 第3展示室

〒680-0011 鳥取県鳥取市東町2-124

●開館時間：9:00～17:00 (入館は閉館30分前まで) **観覧無料**

●休館日：4月23日(月)、5月7日(月)

●お問合せ先：鳥取県まんが王国官房

TEL：0857-26-7801 (平日8:30～17:15) FAX：0857-26-8307

ギャラリートーク●本展の企画者が、展示の意図や谷口作品について解説します。  
4月14日(土)14:00～14:40 / 5月13日(日)14:00～14:40

主催：鳥取県 共催：一般財団法人パピエ

協力：講談社、集英社、小学館、扶桑社、双葉社、フランス著作権事務所